


|   |                       |   |  |   |          |
|---|-----------------------|---|--|---|----------|
| <b>株式会社ヤマトマテリアル</b>   |                       | 業種  | 製造業  |   |          |
|   |                       | 事業所所在地  | 富山県高岡市   |   |          |
| <b>被承継者</b>   |                       | <b>承継者</b>  |  |   |          |
|         | IIMEコーポレーション株式会社      |   |  |   |          |
|   | 事業承継時年齢               | 72歳   |  | 事業承継時年齢                                     | 42歳      |
|   | 業種                    | 製造業   |  | 業種  | 製造業      |
|   | 事業所所在地                | 富山県高岡市  |  | 事業所所在地                                      | 富山県氷見市   |
|   | 資本金                   | 30,000千円  |  | 資本金   | 10,000千円 |
|   | 従業員数                  | 13名   | 従業員数   | 25名   |          |
| <b>事業承継前の主たる事業内容</b>  |                       | <b>事業承継前の主たる事業内容</b>                                |  |   |          |
| アルミニウムへのアルマイト加工   |                       | ダイヤモンド工具の製造・販売                                      |  |   |          |
| <b>被承継者と承継者の関係</b>  |                       | その他の親族外   |  |   |          |
| <b>事業承継の経緯</b>  |                       |   |  |   |          |
| <b>事業承継の検討を開始した時期 : 2018年8月</b>   |                       |   |  |   |          |
| <b>被承継者</b>   |                       | <b>承継者</b>  |  |   |          |
| 相談役が営業部門を支えていたが、高齢という事もあってM&A時点で退職の意向があった。  | <b>承継前の事業課題</b>       | メッキ工程の導入による、排水設備の設置や、行政許可、土地、建物の取得が必要であった。          | <b>承継者</b>   |   |          |
| ①息子への承継 ②息子が引き継ぐ気が無く、後継者が不在の状態であった。事業は安定しており且つ将来性もあると認識しており、やる気のある若い経営者に事業を承継したい思いがあった。 |                       | <b>事業課題解決のために、</b><br>①他に検討した手法は？<br>②なぜ事業承継を選択したか？ |  | ①土地、建物、設備、人員の確保<br>②上記の問題が一気に解決し、事業の幅が広がるため |          |
| 取引銀行による仲介   |                       | <b>相手先との交渉開始のきっかけ</b>                               |  | 取引銀行による仲介                                   |          |
| 特になし  |                       | <b>課題と克服</b><br>①財務                                 |  | 取引銀行からの融資                                   |          |
| 特になし  |                       | <b>課題と克服</b><br>②取引先との調整                            |  | 特になし  |          |
| 特になし  | <b>課題と克服</b><br>③社内調整 | 特になし  |  |   |          |
| 特になし  | <b>課題と克服</b><br>④諸手続き | 特になし  |  |   |          |
| <b>事業承継を行った時期 : 2019年2月</b>   |                       |   |  |   |          |

|                |   |  |
|----------------|---|--|
| <b>事業承継の形態</b> | <b>事業承継 成立の決め手になったのは？</b>                                     |  |
| 株式譲渡           | <b>被承継者</b>   | <b>承継者</b>   |
|                | 自身の高齢による事業継続への不安があったが承継者が若いこと、既存従業員の雇用継続及び更なる発展の可能性が見受けられたため。 | 新たな事業取り組みに向けて設備、人員、製造スペースの確保という種々の問題が一気に解決出来て、且つ事業も安定していたため。 |

## 経営革新等に係る取組の標題

# メッキ工程の内製化による高性能超砥粒及びダイヤモンド工具の開発

| 経営革新等に係る取組の内容  | 新商品の開発又は生産  |
|--|---|
| <p>●親族（息子）や従業員の中に適任者が居なかったことで後継者不在状態となっていた被承継者は、やる気のある若い経営者に事業を承継したいという意向があった。一方、承継者は、事業規模の拡大と製造拠点を確立するために以前から他社との事業再編・事業統合を計画していた。既存事業においてメッキ工程を外部委託していたため、被承継者のメッキ加工技術との融合により自社で内製化することでシナジー効果を高められると判断し、事業統合を計画した。</p> <p>●株式譲渡による事業承継を機に、承継者の生産ラインを被承継者の工場内に移設するとともに、無電解メッキ実験装置1台を購入する事によって、超砥粒及びダイヤモンド工具製造の研究開発、及び今後の内製化体制を構築する。</p> <p>●これにより、今まで外注に頼らざるを得なかった超砥粒及びダイヤモンド工具製造におけるメッキ工程を、被承継者の知識と設備を活かして独自の製造技術の研究と開発を行い、将来的な一貫生産体制を確立させ収益改善を目指す。</p> |   |
|  <p>ダイヤモンドメッキワイヤー製造装置</p>   |  <p>ダイヤモンド粉体無電解メッキ装置</p> |
|  <p>メッキ出来栄チェック</p>  |   |

|  |   |
|--|---|
| <b>地域経済やバリューチェーンへの貢献</b>   | <b>補助対象経費の内訳</b>  |
| 地域雇用の維持、創出などにより地域貢献しており、所在する地域または近隣地域からの仕入れが多い。新事業等に挑戦し地域経済に貢献するプロジェクトに於いて中心的な役割を担っている。その他、当社の成長が地域経済に波及効果をもたらす、地域経済の活性化につながる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人件費</li> <li>■ 設備費</li> <li>■ 原材料費</li> <li>■ 廃業費</li> </ul>  |
|  | <b>経費の主な使い道</b>   |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>人件費</li> <li>設備費（無電解メッキ装置導入費）</li> <li>原材料費（ダイヤモンドパウダー購入費他）</li> <li>廃業費（ワイヤーメッキ装置移設費等）</li> </ul>   |

|   |                                  |   |                                  |
|---|----------------------------------|---|----------------------------------|
| <b>認定経営革新等支援機関の名称 : 株式会社富山銀行</b>            |                                  |   |                                  |
| <b>認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容</b>               |                                  |   |                                  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解 | <input type="checkbox"/> 事業計画の立案 | <input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成 | <input type="checkbox"/> 補助事業の実施 |

メイン銀行様に於いては、制度のしっかりした説明及び書類作成のサポートをいただきました。

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <b>今後に向けて～次の目標</b>      |  |
| <b>2019年から2022年に向けて</b> | 当社のダイヤモンド工具製造の技術力は国内はもちろんの事、海外の大手太陽光パネル製造関連メーカーや大手半導体製造関連メーカーからも高い評価を得ている。中国企業とは技術研究開発の合弁会社も設立しており、当社の技術力の高さが第三者からも裏付けられた形となっている。とはいふ本分野は最先端の技術が用いられた分野であり、その技術は日進月歩で進化しており、メーカーから求められる要求も高くなる傾向にある。更なる進化の為、外注に頼らざるを得なかったメッキ工程を自社内で研究開発し独自のメッキ技術、ノウハウを得られた事でメーカーの要求を満たし、結果自社の競争力の強化へとつながることが出来た。モノを切る、削る、磨くといった工程はモノづくりにおける基礎的な部分であり、最終製品を製造メーカーに好不況の波はあるとしてもダイヤモンド工具は、半導体、金属、非鉄金属、自動車業界等の幅広い分野で使用されており今後に向けての懸念はないと考える。 |
| <b>営業利益</b>             | <b>10 %UP</b>  |

|   |   |
|---|---|
| <b>これから事業承継に取り組む事業者の方へ</b>  |   |
| <b>被承継者からの一言コメント</b>  | <b>承継者からの一言コメント</b>   |
| 今回は事業承継も双方のニーズが合致したお陰で、これまで築き上げた信用や財産を後継者問題で終わらせる事なく、事業継続出来た事は弊社はもとよりお客様や従業員にとっても良かったと思います。若い力で更に発展させ地域社会へ貢献して欲しいと願っています。 | 歴史ある会社を引き継ぎ、責任が増しより一層身を引き締めて、現在も取り組んでいます。既存の取引様にはより一層クオリティーの高い製品、メリットのある単価にて継続することを心掛け、従業員の皆様の安定した雇用を継続できるように努めてまいります。また、地域における雇用の安定、地元経済への貢献度を高めていきたいと思っております。 |